

事例番号:320050

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第三部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 36 週 B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) (-)

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 5 日

1:10 破水の診断で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 39 週 5 日

15:43 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 5 日

(2) 出生時体重:3236g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.404、PCO<sub>2</sub> 37.9mmHg、PO<sub>2</sub> 28.1mmHg、

HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 23.2mmol/L、BE -1.1mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 5 日 退院

生後 23 日 哺乳不良、発熱、喘鳴、経皮的動脈血酸素飽和度低下、呻吟あり

血液検査でプロカルシトニン上昇、CRP 上昇、PT 活性低下、APTT 延長、D

ダイマー上昇あり

細菌培養検査(血液)で GBS 検出  
生後 24 日 髄液検査より髄膜炎と診断  
細菌培養検査(髄液)で GBS 検出  
強直性痙攣あり

(7) 頭部画像所見:

生後 44 日 頭部 MRI で両側前頭葉の脳表に沿うような蓄膿/膿瘍形成所見、脳室拡大および両側前頭葉優位に広範な白質軟化、周辺の大脳白質も含めた脳萎縮、大脳基底核の信号異常を認める

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 3 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、GBS 感染症により、細菌性髄膜炎を発症したことであると考える。

(2) GBS の感染時期および感染経路は不明である。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

**1) 妊娠経過**

妊娠中の管理は一般的である。

**2) 分娩経過**

(1) 入院後の分娩管理(分娩監視装置装着)は一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析(「原因分析に係る質問事項および回答書」による)を実施したことは一般的である。

**3) 新生児経過**

出生後から退院までの新生児管理は一般的である。

#### 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

遅発型 GBS 感染症に対する疫学的調査、予防・診断・治療に対する知見の集積が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。